



醸芳っ子通信

桑折町立醸芳小学校だより
令和6年9月11日 No.10
文責 校長 花輪 忠康

【教育目標】よく考えて学ぶ子ども(知) 親切で思いやりのある子ども(徳) 健康で明るい子ども(体)
合言葉「こつこつ とことん あきらめない」(継続・徹底・根気)

第2回避難訓練・引き渡し訓練

9月6日(金)、第2回避難訓練と引き渡し訓練を行いました。避難訓練では、地震が発生し、家庭科室から出火したという想定で、体育館に避難をしました。避難の際に大事なことは、「お(おさない)・か(かけない)・し(しゃべらない)・も(もどらない)」です。子どもたちは、「どこで火が発生したのか、どこへ避難をするのか」をよく聞き取り、担任の先生に引率されながら避難をすることができました。

また、引き渡し訓練では、万が一の事態に備え、家庭の人と一緒に帰る訓練を行いました。最近、地震・雷・大雨などの自然災害ばかりでなく、不審者対応、熊・猿などの出没などの事案も起こっています。「自分の命は自分で守る」ことを忘れず、安全・安心に学校生活を送れるようにしたいです。ご家庭の皆様、ご理解・ご協力ありがとうございました。



町陸上競技大会に向けて！(5・6年)

8月27日(火)は、6年生の陸上教室。30日(金)は、5年生の陸上教室でした。桑折町の「イコーゼ！」に移動し、講師の菊田先生から、体づくりのストレッチや陸上競技の運動のコツを教えてくださいました。



関節や筋肉を柔らかくするストレッチや、リズムカルな助走につながる運動を行いました。両手を大きく振って走る運動や、ジャンプをして跳躍を高める運動を行いました。冷房の効いた室内で、運動量を十分確保することができました。

是非とも9月28日(土)に行われる「町陸上競技大会」に参加して、友達と競い合い、運動能力を高めてほしいです。

平和学習派遣事業報告会

9月2日(月)、町役場で平和学習派遣事業の報告会がありました。引率者の渡邊さんの日程説明の後、5名の各校代表児童の皆さんと本校の多田先生が研修の報告をしました。

本校6年の菅野さんは、平和式典にロシアやベラルーシの参列者がいないことの違和感を話し、被爆経験者の方の話を踏まえて、戦争の辛さや核の恐怖を発表しました。また、同じく6年の佐藤さんは、原爆の黒い雨の恐怖や被爆経験者から聞いた被爆地の惨状を話し、戦争を経験者が減っている現状を危惧し、平和の尊さを発表しました。平和記念公園の慰霊碑には、「安らかに眠って下さい。過ちは繰り返しませんから」と書かれています。「過ち」のない平和な世の中。いつその願いは実現するのでしょうか。報告して下さった児童の皆さん、引率の渡邊さん、多田先生、ありがとうございました。



福祉学習体験(5年)

8月29日(木)、5年生は、総合的な学習の時間で「福祉」の体験学習をしました。5年生の学年テーマは「やさしさの輪を広げよう」です。社会福祉協議会のボランティアセンターの浜田さんから「福祉」についてお話を聞きました。「福祉」とは、「みんなが支えあって生きていくこと」です。障がいのある方や高齢者の方々だけでなく、地域でふだんの暮らしをしているみなさんが幸せになることです。講話をうかがった後は、車いすの体験学習を行いました。社会福祉協議会のボランティアセンターの職員の皆さん、ありがとうございました。



うまみのひみつ(5年)



8月26日(月)、5年生は家庭科の学習で、味の素社様の出前授業(リモート授業)を受講しました。おいしさの感じ方、うま味成分の発見についてお話をいただいた後、味噌汁の試飲を行いました。味噌を溶かしただけの味噌汁と、うま味調味料を加えた味噌汁の飲み比べです。うまみ成分は、昆布、鰹、にぼしなどからとった調味料です。やっぱり、うまみ成分が加わると、一層おいしい味噌汁になるようです。最後に食べることの意味や大切さについて説明をいただきました。みなさんの体は「みなさんの食べた食べ物」でできています。日頃からバランスよく栄養をとることが大事ですね。

ライオン先生ようこそ

2学期から外国語助手として、ライオン先生がお見えになっています。授業では、ライオン先生と自己紹介を行うために、1学期に学んだ「あいさつの仕方」「好きなもの」「できること」の英語表現を取り入れて、自己紹介をしました。ライオン先生、これからもよろしくお願いします。



日本文化クラブ華道体験

日本文化クラブでは、池坊華道家元の齋藤先生、鈴木先生にお越しいただき、生け花体験を行いました。生け花の歴史や生け方で大事なことを教わり、齋藤先生の生け方を見せていただきました。子どもたちも生け花を体験し、素敵な作品をつくることができました。



花いっぱいコンクール現地審査

9月3日(火)、県北農林事務所の高木様が来校され、花いっぱいコンクールの現地審査を行いました。心配されていた台風の通過も熱帯低気圧に変わり、花壇の草花も倒されずに、審査を迎えることができました。飼育栽培委員会の子どもたちを中心に、どのクラスでも水やりや除草を行ってきた花壇です。子どもたちの花への関わりを評価していただきました。

